

# 日本はアメリカの植民地？

～日米地位協定入門～

日時 2018年 6月30日(土) 14時～16時30分

場所 かながわ県民センター 711号室

ごとうまさひこ

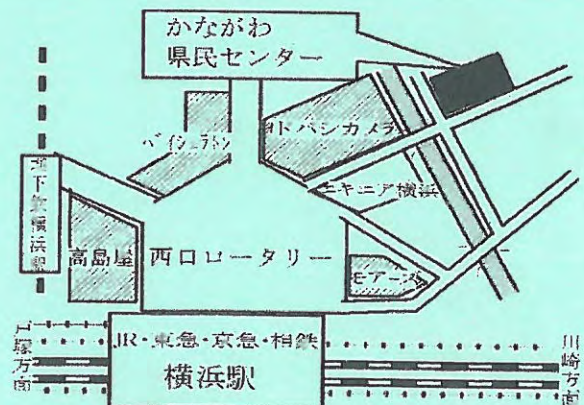
講師 吳東正彦さん (弁護士、原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会共同代表)

講師略歴 1959年生まれ、東京大学卒、まちの弁護士活動のかたわら、原子力空母問題、クレサラ問題、まちづくりの問題など市民運動をする市民の味方

在日米軍をめぐるのは、事件事故が頻発しています。しかし、事件事故が起きても米軍は形だけ謝った後は、改善を求める市民の声を無視して勝手気ままに行動しています。日本政府は米軍にお願いするだけで、国民の側に立った姿勢は取っていません。これはなぜなのでしょう。いつも言われるのが「日米地位協定」の壁です。「地位協定」には一体何が書かれているのでしょうか。どんな密約があるのでしょうか。神奈川県下でも横須賀基地所属の艦船には事故が多発し、オスプレイが飛び、いまだに厚木基地では戦闘機が飛行しています。独立後66年、日本の空は今も米軍に管理されています。基地県神奈川の市民として「日米地位協定」を学び、沖縄を含む日本の基地問題、日米関係を改めて考えてみませんか。



原子力空母ロナルド・レーガン



参加費 500円

問い合わせ先 内田 (045-831-6907)